

JR東海労ニュース

9条堅持!



山岡けんじ

No.1841

2013年6月3日

JR東海労働組合

憲法改悪を許さないために参議院選を闘おう! JR総連第29回定期大会

6月2～3日、水上ホテル聚楽でJR総連第29回定期大会が開催され、JR東海労からも多くの組合員が参加しました。

武井委員長は挨拶で「憲法改悪の危機、反自民・反維新を明確にして参議院選を闘おう」と訴えました。また、「JR東海で、21才の若い社員が出勤遅延未遂とされた上、プライベートのことまで報告を迫られ自殺に追い込まれた。このような企業体質はブラック企業に他ならない」と、JR東海の社員管理を糾弾しました。

JR東海労からは、本部木下副委員長が発言しました。発言内容の要旨は以下の通りです。

◆ JR総連や田城議員の力添えで、60歳以降の雇用確保ができた。しかし、会社は経過措置を残し、専任社員制度に専任Vを新設し差別をつくった。差別を許さない闘いを進めていく。

◆ 安倍政権は戦争のできる国づくりを進めている。JR東海顧問が内閣官房副長官に、常任顧問が内閣審議官に就任した。安倍首相はアメリカにリニアを売り込んだ。その中枢は葛西会長である。原発はリニア



運行のためだけではなく、日本が潜在的核兵器を持つために必要とされているのではないか。憲法9条の危機である。JR東海労は反原発・反リニアの闘いと併せ、改憲阻止の闘いを強化する。そのための参議院選を闘う。まもなく目標100%であるが、200、300%を目指す。

◆ 1月に関西支社の若き社員が自殺した。JR東海労は、労働組合として異常な労務管理から彼を守れなかったことで苦痛な思いである。これに対し、JR東海労は会社に申し入れを出した。しかし、会社は協議の場を持たない。一方、JR東海ユニオンは組合員一人の命を守れない。パワハラ・セクハラは後を絶たない。「命令と服従」「規律と忠誠心」の労務管理を許さず闘っていく。